

第4回 新居浜市山田社宅保存活用計画策定委員会 会議録

日 時：平成30年9月21日（金）13時30分から16：30分まで

場 所：新居浜市役所 2階 21会議室

出席者 委員 4名

末岡 照啓 委員長、矢ヶ崎 善太郎 委員、清水 真一 委員、花岡 直樹 委員

関係課 5名

広瀬歴史記念館 久葉

建築住宅課 高須賀、越智、加藤

都市計画課 山下

事務局 5名

原企画部長、企画部別子銅山文化遺産課 秦野、藤田、濱岡

教育委員会文化振興課 高橋

受託者（保存活用計画策定業務）2名

住友林業ホームテック株式会社 大澤 康人、神野 賢

文化庁の定める「登録有形文化財建造物修理の設計監理にかかる技術指導」者

株式会社文化財構造計画 富永 善啓

傍 聴 なし

議 題 前回までの経過報告

- (1) 外国人社宅の耐震補強（案）について
- (2) 保存活用計画（案）について
- (3) その他

（事務局）

定刻となりましたので、ただ今から、第4回山田社宅保存活用計画策定委員会（以下「策定委員会」）を開会いたします。まず、本日の策定委員会は、山田社宅保存活用計画策定委員会設置要綱（以下「要綱」）第6条の規定により、委員の出席者が過半数を超えておりますので、委員会は成立しております。

それでは、要綱第6条の規定により、議事進行を委員長において、お願いいたします。

（委員長）

それでは、山田社宅保存活用計画策定委員会を開会いたします。まず、本日の会議の公開に

ついてであります。事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

新居浜市審議会等の公開に関する要綱第3条に基づきまして、原則公開となっております。

ただし、各法人・団体・個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害すると認められる場合は非公開となります。各委員の研究中の事例等の未確定な事例等も取り上げられる場合は非公開となります。今回の審議内容については、事前に各委員さんに照会したところ、「各委員の研究中の事例等、未確定な事柄」が含まれるということでもあります。

(委員長)

それでは、委員の皆さんにお伺いいたします。本委員会は、冒頭の経過報告のみ公開とし、各議題の審議については、各委員の研究事項・事例等が含まれるということから、非公開として取り扱うことでよろしいでしょうか。

(各委員 異議なし)

(委員長)

今回は、冒頭の経過報告までの公開といたします。

それでは、前回の会議の経過について、事務局から報告をお願いいたします。

(事務局)

第3回の決定事項の中で、外国人社宅の一部名称変更がありました。

「社宅の価値」については、まだ現在進行形で住友史料館でもいろんな資料が出てきております。価値付けについては最終的に文章でお届けしますが、前回では一応それぞれの価値については承認頂いております。

次に、保護の方針案につきましても後で出てきますが、それぞれの社宅の方針案が決定しております。

次に、耐震診断、(東棟)子ども部屋、廊下についてご議論頂きました。議論頂いた中でも受託者に検討して頂き、今回再提案する事が出てきますので後の課題となります。

次に、住友化学愛媛工場長宅の物置小屋を保存するかしないかという事で、建築住宅課長の老朽化判定等、様々な検証をして頂きました、その中で、撤去するのか保存するのか、ご議論を踏まえた上で現地調査も行いました。最終的には、本体に付随する小屋という事で、瓦のみ葺き替えし保存することにしました。住友化学愛媛工場から資料提供があった一級二級社宅(上級社宅)については、ほとんど本体と付随屋が付いて建築されており、当初から母屋と付随小屋は建築されていた事が分かりましたので、住友化学愛媛工場長宅の物置小屋も母屋と一体利用という事で保存することになりました。

次に、周辺整備として3案を出しましたが、大きくは外国人社宅の良く見える配置で進めて

くださいとのことで、詳細につきましては実施設計する段階で肉付けして行く必要があるが、骨子として全部の社宅が見える周辺整備を行うということになっております。

次に、保存活用計画について、今日も前回に引き続き協議を行います。今までのところ3章の途中までは大筋ご了解頂きました。

詳細はこの後、受託者より説明があります。

以上です。

(委員長)

前回の会議については、以上のような経過です。

何かご意見、ご質問はございませんか。なければ「議題（1）外国人社宅の耐震補強ついて」に入ります。

これ以降については、非公開といたします。

(非公開部分)

閉 会